

T S1/5/1

1/5/1

DIALOG(R) File 347:JAPIO

(c) 2003 JPO & JAPIO. All rts. reserv.

03314889 **Image available**

PICTURE SELECTION DISPLAY SYSTEM

PUB. NO.: 02-290389 [JP 2290389 A]

PUBLISHED: November 30, 1990 (19901130)

INVENTOR(s): ISHIDA TAKASHI

ISHIDA NOBORU

NAKANO MICHIO

WATABE HIRONOBU

HATAKEYAMA TAKAO

APPLICANT(s): NIPPON AVIONICS CO LTD [327329] (A Japanese Company or Corporation), JP (Japan)

SEIBU HIYATSUKATEN KK [460720] (A Japanese Company or Corporation), JP (Japan)

HANII KK [485188] (A Japanese Company or Corporation), JP (Japan)

APPL. NO.: 02-025992 [JP 9025992]

FILED: February 07, 1990 (19900207)

INTL CLASS: [5] H04N-007/18

JAPIO CLASS: 44.6 (COMMUNICATION -- Television); 29.1 (PRECISION INSTRUMENTS -- Photography & Cinematography)

JOURNAL: Section: E, Section No. 1034, Vol. 15, No. 66, Pg. 162, February 15, 1991 (19910215)

ABSTRACT

PURPOSE: To facilitate the comparison and check in detail by selecting the optional number of plural kinds of recording pictures picked up every time personal ornaments are changed and displaying a selected picture on screens divided into the selected numbers.

CONSTITUTION: At first a customer wears an eyeglass frame selected optionally, a switch 6a is operated to pick up the state of the frame wearing and its picture is stored in a storage section 3. Then the eyeglass frame is replaced, the switch 6a is operated to pick up the picture and the picture is stored in the storage section 3. The operation above is repeated 9 times, when a switch 6c is operated, a display section 5 reads a picture from the storage section 3 to display 9 kinds of pictures onto screens of the display section 7 divided into 9. The customer selects a pattern in matching with its preference by using a switch 6b while observing the display and 4 pictures are displayed on screens divided into four with a switch 6c and a preferred pattern is selected.

?

⑫ 公開特許公報(A) 平2-290389

⑮ Int.Cl.⁵

識別記号

庁内整理番号

⑯ 公開 平成2年(1990)11月30日

H 04 N 7/18

U

7033-5C

審査請求 有 発明の数 1 (全4頁)

⑭ 発明の名称 画像選択表示方法

⑰ 特 願 平2-25992

⑱ 出 願 昭61(1986)7月23日

⑲ 特 願 昭61-171790の分割

⑳ 発 明 者 石 田 孝 東京都港区西新橋1丁目15番1号 日本アビオニクス株式会社内

㉑ 発 明 者 石 田 昇 東京都港区西新橋1丁目15番1号 日本アビオニクス株式会社内

㉒ 出 願 人 日本アビオニクス株式会社 東京都港区西新橋1丁目15番1号

㉓ 出 願 人 株式会社西武百貨店 東京都豊島区南池袋1丁目28番1号

㉔ 出 願 人 株式会社ハニー 東京都豊島区東池袋1-32-6

㉕ 代 理 人 弁理士 山川 政樹 外2名

最終頁に続く

明 細 書

1. 発明の名称

画像選択表示方法

2. 特許請求の範囲

装身具を換える度に被写体像を撮像してその画像を記憶し、

その記憶内容のうち任意数の種類を選択し、

画面をその選択数に分割し、

その分割された個々の画面に記憶画像のうち選択された画像を表示する画像選択表示方法。

3. 発明の詳細な説明

〔産業上の利用分野〕

この発明は、各種装身具を交換して、本人の好みにあった装身具を選択するための画像選択表示方法に関するものである。

〔従来の技術〕

一般に、装身具を購入する者は、それを装着した状態で鏡を見て本人の顔、および体形との釣り合い具合を調べているのが実情である。この場合、装身具を各種取り換えるときは前の状態を覚えて

おきその記憶した状態と現状との比較を行い、どちらにするかを選択している。しかし、装身具が似合うか否かは微妙な違いで決まるので、記憶の範囲では細かい比較ができず、結局は何度も同じものを交換しながら決める場合が多い。

このような場合、選択を助けるものとして例えば特開昭56-157178号公報、特開昭48-30322号公報、特開昭60-253389号公報等に開示されているファッション・シミュレータがある。これは客の顔をテレビジョンカメラで撮影した画像に対して、各種の商品を記憶した情報の中から任意のものを選択して重ね合わせるものである。このようにすれば自分の顔にどのような装身具が似合うか各種切り換えて調べることができる。しかし、これでは客の顔の大きさは千差万別であるのに、記憶された商品は一種類であるため、本人が最適な装身具をまとった場合とは異なった画像になる。例えばある人の場合は顔に似合わず小さな眼鏡をかけた画像になり、また人によってはその反対の状態になる。

そこで、記憶されている画像の大きさを適宜変形して客の顔の大きさに適合させるようにするのが特公昭57-9803 号公報に開示されている。

〔発明が解決しようとする課題〕

ところがこの方法では装身具の大きさを変形させてしまうので、実際のものとは異なったものになる場合があり、装身具のような微妙なバランスを要求されるものには適合しない。また、この方法によっても、表示されるのは一つの画像だけであり、各種の装身具を取り換えながら比較する場合はやはり記憶に頼らなければならない。同一画面に複数の画像を表示する方法が実開昭57-96599 号公報に開示されているものの、これは一つの画面を4分割して、外部から供給される4種類の信号を個々の分割位置に表示するものであるから、装身具を変えながら画面比較する方法では同時に4つの画像を供給できず、この方法は装身具を換えながら最適なものを捜す目的には適用できないという課題がある。

〔課題を解決するための手段〕

チ6。はモニタ7の画面を例えば9分割して、それぞれの画面に画像記憶部3に記憶している9種類の画像を個々に選択表示するためのもの、スイッチ6。はあらかじめ設定したモニタ7の分割表示画面数の表示モードを選択するためのものである。

この装置は商品販売のツールとして用いられるから、分割表示される画面数は「多」→「少」への一方向に選択されるのが望ましい。このためには表示画面数選択スイッチ6。は1個とし、当該スイッチ6。を操作する毎に表示画面が例えば9画面→4画面→2画面→1画面と切り換わるように、予め表示モードを設定しておくことによって達成される。しかし用途によっては表示画面数選択スイッチ6。に、それぞれの分割表示画面の表示モードを選択するスイッチを複数個設けて、個々に所望の分割表示画面を選択するようにしても良い。また、マルチ表示部5はスイッチ6。、6。に対応する表示を行うようになっている。

このように構成された装置の動作を眼鏡のフレ

このような課題を解決するためにこの発明は、装身具を変える度に被写体像を撮像してその画像を記憶し、その記憶内容のうち任意数のものを選択し、画面をその選択数に分割し、その分割された個々の画面に記憶画像のうち選択された画像を表示するようにしたものである。

〔作用〕

自分が装身具を装着した画像が複数同時に表示されるので、その画面を見ればどの装身具が一番似合うかが選択し易くなる。

〔実施例〕

第1図はこの発明の一実施例を示すブロック図である。図において、1は客である被写体、2は被写体1を撮像するテレビジョンカメラ、3はシーケンス制御部4の制御に応じて順次撮像される複数の画面を記憶する画像記憶部、5はシーケンス制御部4の制御に応じて画像記憶部3の記憶内容をモニタ7に表示するマルチ表示部である。

スイッチ6。はテレビジョンカメラ2の撮影像を画像記憶部3に記憶させるためのもの、スイッ

ームを選択するときの例について説明する。先ず、客は任意に選択した眼鏡フレームをかけ、スイッチ6。を操作して、そのフレームをかけた状態を撮像すると、その撮像結果が画像記憶部3に記憶される。このとき、横顔の記憶も必要であればスイッチ6。を操作してその状態も記憶しておく。

次に眼鏡フレームを取り換えながらスイッチ6。を操作して、次々とその状態を記憶していく。この記憶は例えば9種類できるようになっている。記憶が終わり、スイッチ6。を操作すると、マルチ表示部5は画像記憶部3に記憶されている画像を読み出し、モニタ7に表示する。このときモニタ7は第2図に示すように9分割され、それぞれの区画に撮像された9種類の画像が一つずつ表示される。客はこの表示を見ながら自分の好みにあうものをスイッチ6。で選択した後、モニタ7に表示させるため、スイッチ6。を操作して4分割モードにする。このとき、例えば第2図のA、G、C、Eの4種類を選択すれば、モニタ7が第3図に示すように4分割されて、4つの画像が表

示され、しかも第2図に示す状態より大きく表示されるので、この状態で好みのものを選択すれば良い。更に、この4つの画像の一部または全部を他のものと入れ換えて表示してみたいときは再びスイッチ6。により選択し組み合わせて表示させる。なお、スイッチ6。に複数種の分割表示モード選択スイッチを設けた場合には、スイッチ6。により9画面に戻してその中から好みのものをスイッチ6bによって選択することができる。第3図の中で例えば好みのものがA、Gの2種類に絞られれば、スイッチ6。でその画面を指定し、スイッチ6。を操作することにより第4図に示すようにモニター7の画面が2分割され、第3図の状態より更に大きく表示される。この場合、一方の画像または両方を入れ換えたいときは前述した操作によって入れ換えられる。この状態で客は最終的にどちらかを選択し、スイッチ6。でその画面を指定し、スイッチ6cを操作すると、第5図に示すように、その画像が画面一杯に表示される。

この実施例においては、画像選択スイッチ6。

および表示画面数選択スイッチ6。を別個に設けた例を示したが、表示画面数選択スイッチ6。を省略し、画像選択スイッチ6。の操作回数をカウンタして当該カウント数が予め設定したモニター7の分割表示画面数に達したことを検出し、画像選択スイッチ6。の操作回数に一致する分割表示画面数の表示モードに切り換えるように構成しても良い。このように構成すれば、画面の数を順次減らして最終的な画面を選択するとき、例えば第4図の状態において画面を任意の一つだけに選択すれば第5図のような表示も行える。

このような方法をとれば、近視の人が眼鏡フレームを選ぶ時でもその眼鏡フレームをかけた画面を選択するため、新たに購入する眼鏡フレームにレンズが取り付けられていなくても、全く不自由せずに選択できる。また以上の実施例は眼鏡フレームについて説明したが、例えばネクタイ、帽子、イヤリング、洋服、和服など、感覚的な要素によって選択するもの全てに適用できる。また、任意の方向の表示ができるので、髪形を各種の方向か

ら観察して表示することもできる。

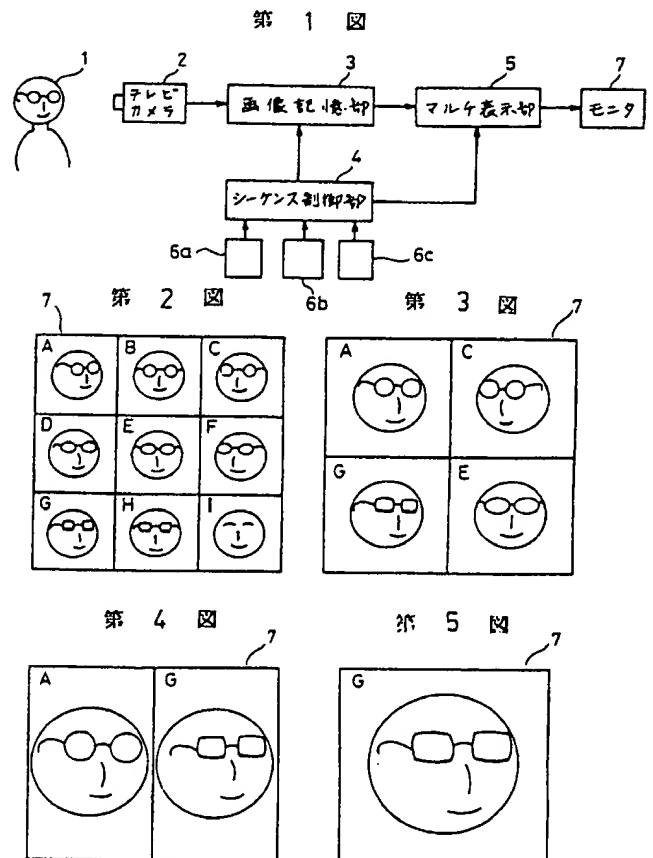
〔発明の効果〕

以上説明したようにこの発明は、実際に装身具をまとった状態を表す複数種類の記録画像のうち任意数のものを選択し、画面をその選択数に分割し、その分割された個々の画面に記憶画像のうち選択された画像を表示するようにしたものであるから、従来は行えなかった微妙なバランスの比較対象できるので、記憶に頼って比較対象する必要がなくなり、細部の比較検討が容易に行えるという効果を有する。

4. 図面の簡単な説明

第1図はこの発明の一実施例を示すブロック図、第2図～第5図はモニターの表示画面を示す図である。

2・・・テレビジョンカメラ、3・・・画像記憶部、4・・・シーケンス制御部、5・・・マルチ表示部、6a、6b、6c・・・スイッチ、7・・・モニター。



第 1 頁の続き

⑫発 明 者	中 野	迪 雄	東京都港区西新橋 1 丁目 15 番 1 号 日本アビオニクス株式会社内
⑬発 明 者	渡 部	浩 延	東京都豊島区南池袋 1 丁目 28 番 1 号 株式会社西武百貨店内
⑭発 明 者	畠 山	隆 雄	東京都豊島区東池袋 1 - 32 - 6 株式会社ハニー内